



佐賀大学教職大学院 広報誌

2025年

第2号(5月)

# 院生ライフレポート



## 教職大学院1年生前期の授業を紹介します！

教職大学院に入学し、約1か月が過ぎました。少しずつ大学院生活にも慣れてきたところです。グループワークを取り入れた演習中心の授業や発表を通して学んでいます。発表は、所属コースを問わず、学部卒業生等学生（ストマス）と現職教員等学生（現職）が、ペアまたはグループになって行っています。発表の準備や授業を通して、互いに刺激を受け合いながら、それぞれの立場で自分の学びを深めることができるのは、本大学院の魅力の1つです。前期は、コース独自の授業もありますが、共通科目が多く設定されています。今月号から共通必須科目について紹介します。



### 月曜・2限「特別支援教育の基礎と課題」 (小松原先生・中島先生)



この授業では、特別な支援を要する子どもの理解や課題、支援方法について講義やディスカッション、演習等を通して勉強してきます。演習では、「DN-CAS」や「K-ABCⅡ」など実際使用される検査を使いながらそれぞれの特徴について学習していきます。

### 月曜・4限「教育経営の基礎と課題」 (平田先生・嘉村先生)

写真は「教員評価とメリットペイ」について現職とストマスがペアになって発表をしている様子です。この授業では近年の教育改革諸政策を検討し、教育改革の全体像と個別具体的な政策、及び政策間の完成を講義や発表を通して理解していきます。



### 水曜・1限「授業づくりと学級経営の基礎と課題」 (米田先生・竜田先生)



この授業は、授業づくりや学級経営についての基礎的な理論について学習しています。学級経営ではQU アンケートを基に学級経営を考えグループで共有します。授業づくりでは、数学の授業を例に挙げ、現代の授業における指導方法が抱えている課題について演習を通して考えていきます。

編集者 H&N